



# 第49回 高知県こども英語弁論大会

主催：NPO 法人高知県生涯学習支援センター

共催：高知県教育委員会

後援：高知県、高知市、高知市教育委員会、高知新聞社、読賣新聞高知支局、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、NHK 高知放送局、RKC 高知放送、KUTV テレビ高知、KSS さんさんテレビ、高知ケーブルテレビ、エフエム高知、高知ロータリークラブ

高知県下の子ども達に国際人としての感覚を身につけ、将来国際社会で活躍できる人材を育てる一助ともなればとの主旨で、国際語である英語の弁論大会を開催します。この大会は、幼児の部では高知県知事杯、小学校低学年の部では高知ロータリークラブ会長杯、そして小学校高学年の部では高知市長杯が、それぞれの部の優勝者に贈られます。また弁論の形式は、与えられた課題を暗誦して発表するレシテーション形式の「課題弁論」と、自由なタイトルで自作して発表していただく「自由弁論」とがあり、それぞれ年令・学年に関係なく最優秀者に龍馬杯とジョン万杯が贈られます。さらに幼児、小学校低学年、高学年の三部合同のしばてん大学杯・熱演賞・特別賞もあります。

大会日時：令和6年12月21日(土曜日) 開場・受付:12:00・開会:12:30・終了予定時刻:17:00

【諸事情により中止や時間変更がある場合、出場者には12月7日迄にご連絡いたします】

大会会場：高知県立美術館ホール(昨年と会場が異なりますのでご注意ください)

参加資格：3歳以上、小学6年生まで。(高知県在住の児童)

弁論内容：① それぞれ弁論の初めに英語にて、題名、氏名、所属(幼稚園又は保育園名又は学校名)、年令(又は学年)を述べること。

② 課題弁論(Recitation)又は、自由弁論(Public Speaking)とする。

③ 課題弁論は、幼児の部、小学校低学年の部(1~3年)、高学年の部(4~6年)の3部分に分かれ、主催者より出題される暗誦課題のうち1つを選び暗誦するものとする。

④ 自由弁論は、子どもの生活に密着した題材で未発表のものに限る。印刷、販売されている既製のものからの抜粋等は認められない。3分前後とする。英語指導者等の英文作成は認められる。

申込期間・方法：令和6年10月1日(火)~令和6年11月29日(金)

申込書と参加費を当センターへお持ちいただくか、現金書留に、申込書と共に参加費を同封の上、期日(11月29日)必着で郵送下さい。(但し、水・土・日・祝日はセンター定休日です。)

〒780-0850 高知市丸の内1丁目1-10 県立公文書館3階 NPO法人高知県生涯学習支援センター

参加費：3,000円

問い合わせ：NPO法人高知県生涯学習支援センター TEL088-855-7606 FAX088-855-7607

.....切り取り線.....

## 第49回高知県こども英語弁論大会申込書

ローマ字	年齢	歳
フリガナ 名前：	男	女
所属(幼稚園・学校名等)：	学年	年
住所： 〒 TEL：	FAXまたはメール：	
出場回数：初回・連続・(通算 回目)	英語圏在住や保護者の英語圏出身等：	有・無
発表する弁論の種類(どちらか一つ選んでください) 自由弁論の題名は英語で書いてください。そのまま使用します。	受付日 / 係印	
* 課題弁論(題名) _____		
* 自由弁論(題名) _____		

申込書に記入されているローマ字表記にてパンフレット等、作成いたします。

# 第49回高知県こども英語弁論大会要領

主催 NPO 法人高知県生涯学習支援センター

理事長 高木 義夫

TEL088 (855) 7606 FAX088 (855) 7607

(〒780-0850 高知県丸ノ内1-1-10 県立公文書館3F)

大会主旨： 高知県下のこども達に国際語としての英語教育を喚起し、国際人としての感覚を身につけ、将来国際社会で活躍できる人間に育てる。

主催団体： 特定非営利活動法人高知県生涯学習支援センター

参加資格： 3歳以上、小学6年生まで（高知県在住のこども達）

弁論内容： 1. 課題弁論 (Recitation) と、自由弁論 (Public Speaking) とする。  
2. 課題弁論は、幼児の部、小学校低学年の部（1～3年）、高学年の部（4～6年）の3部に分かれ、毎年、主催者より出題される暗誦課題のうち1つ選び暗誦するものとする。  
3. 自由弁論は、子どもの生活に密着した題材で、未発表のものに限る。  
印刷、販売されている既製のものからの抜粋等は認められない。  
3分前後、5分以内とする。英語指導者等の英文作成は認められる。  
4. それぞれ弁論の初めに英語にて、題名、氏名、所属（幼稚園又は保育園名又は学校名）、年齢（又は学年）を述べること。

審査の基準： 英語力50% 弁論表現力50%

英語圏在住経験有や保護者が英語圏出身の児童のための「※しばてん大学杯」を28年度より新たに設けた。その為、保護者全員に受付時や電話で確認をし、滞在期間や滞在時期、英語環境等を考慮して対象になるかどうかを判断する。

※「しばてん大学」とは、NPO 法人高知県生涯学習支援センターの生涯学習事業の総称です。

審査員： 英語を母国語とする外国人1名以上および日本人1名以上。但し外国人の審査員は英語を第一国語とする国において Bachelor 以上の学位を習得した者。日本人審査員は大学教授又は文部省認定実用英語検定一級合格者又は英語教員資格者で10年以上の教員歴を持つ者。出場者を6カ月以内に直接英語指導したことがある者は審査員となれない。

各賞： 高知県知事杯 (幼児の部)  
高知ロータリークラブ会長杯 (小学校低学年の部)  
高知市長杯 (小学校高学年の部)  
しばてん大学杯 (英語圏環境児童の部)  
ジョン万杯 (自由弁論の部)  
龍馬杯 (課題弁論の部)  
熱演賞 (幼児・小学校低学年および高学年の合同)  
特別賞 (前田賞) (幼児・小学校低学年および高学年の合同)

副賞： 高知県内外企業、組織又は個人よりの寄贈を受けることがある。

経費支弁： 有料（出場予定者の数の過不足による弁論大会経費の過不足は、主催団体の会計により支弁する。大会用パンフレット作成のため広告宣伝を有料で掲載することがある。但し広告主は出場者と直接関係するものであってはならない。）